

安達太良山の火山活動解説資料（平成31年1月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図1、図2-①⑤）
若宮に設置している監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。
- ・地震や微動の発生状況（図2-②～④⑥）
火山性地震は少ない状態で経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。
- ・地殻変動の状況（図3、図5）
火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図1 安達太良山 沼ノ平火口周辺の状況（1月28日）

・若宮（沼ノ平火口の西北西約8km）に設置している監視カメラの映像です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成31年2月分）は平成31年3月8日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院及び東北大学のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

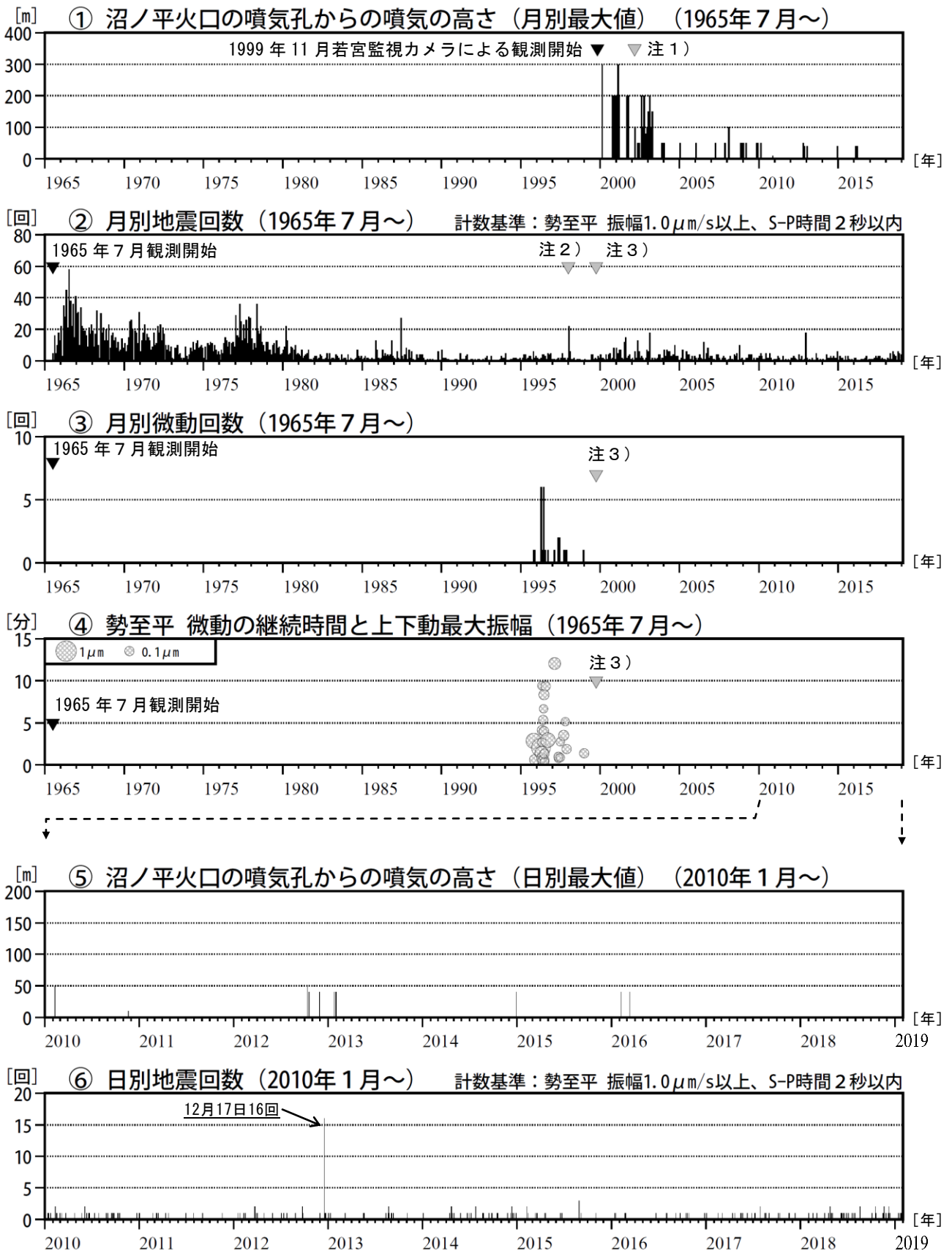


図2 安達太良山 火山活動経過図（1965年7月～2019年1月）

- ・①注1) 2002年2月以前は定時（09時、15時）及び随時観測による高さ、2002年3月以降は24時間観測による高さです。
- ・②注2) 1998年より計数基準をS-P5秒以内からS-P2秒以内に変更しました。
- ・②～④注3) 1999年10月に基準観測点を塩沢観測点（沼ノ平火口から東北東約6km）から新設した勢至平観測点（沼ノ平火口から東北東約3km）に変更しました。

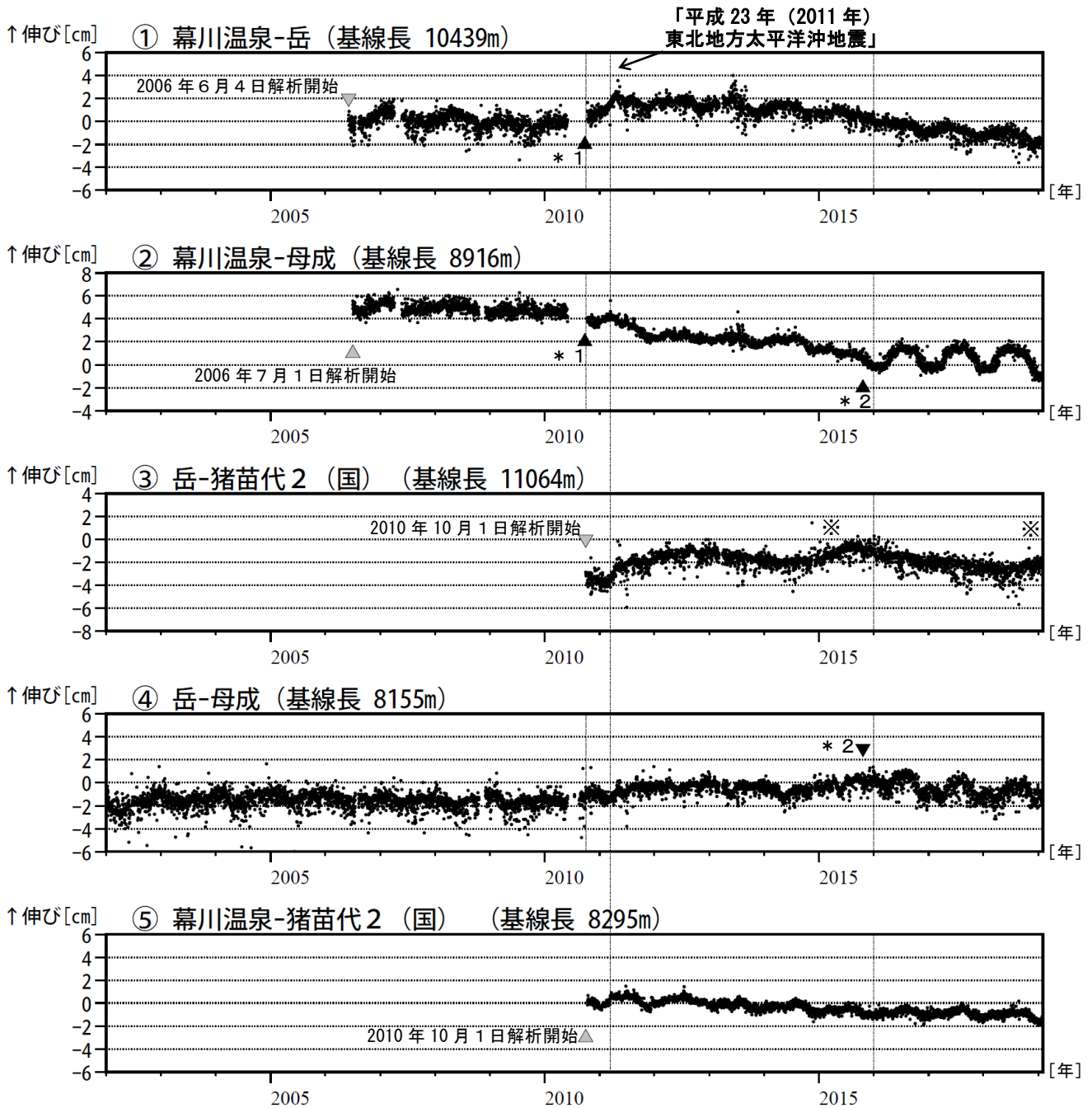


図3 安達太良山 GNSS¹⁾ 基線長変化図 (2002年1月～2019年1月)

- ・ 2010年10月及び2016年1月に、解析方法を変更しています。
- ・ 「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
- ・ ①～⑤は図5のGNSS基線①～⑤に対応しています。
- ・ グラフの空白部分は欠測を表しています。
- ・ (国)は国土地理院の観測点を示します。

* 1：幕川温泉観測点の機器更新を行いました。 * 2：母成観測点の機器更新及び移設を行いました。

※吾妻山の地殻変動に伴う変化がみられています。

1) GNSSとはGlobal Navigation Satellite Systemsの略称で、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示します。

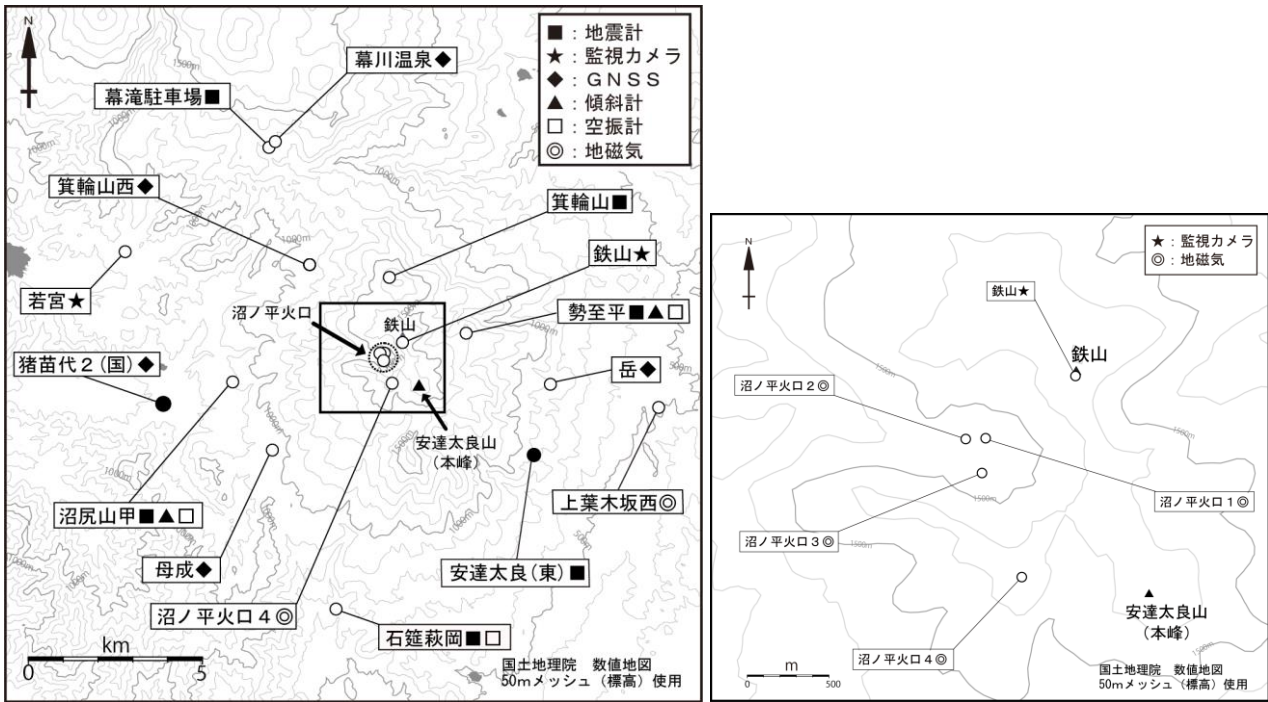


図 4 安達太良山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。左図の四角囲みは右図の表示範囲を示しています。

（国）：国土地理院 （東）：東北大学

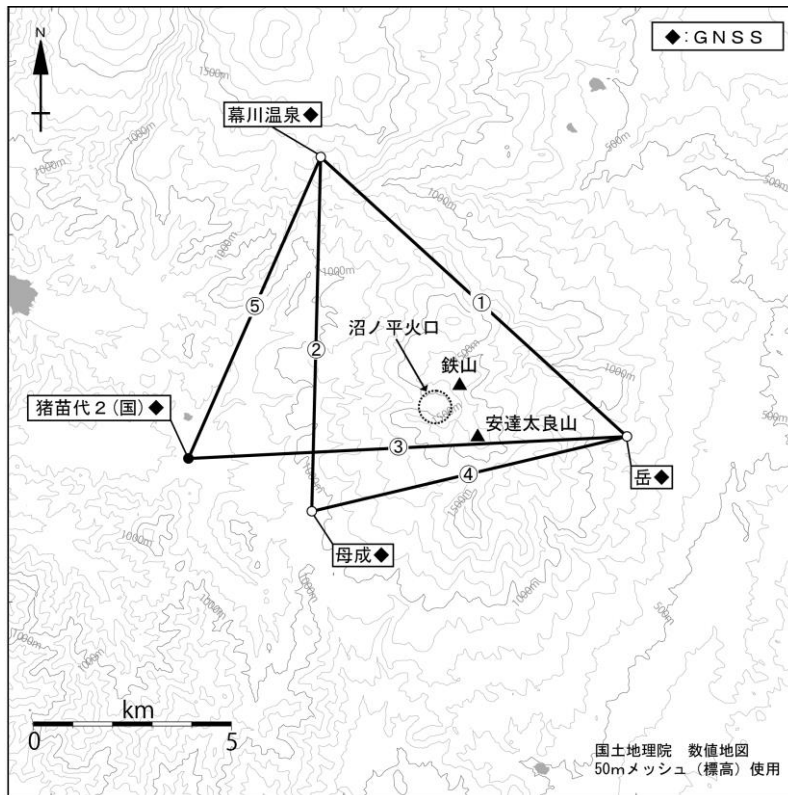


図 5 安達太良山 GNSS 観測基線図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院